

旭川医科大学から

最高の医療を沼田町の皆さまに

沼田中学校 1971年度 第4回 卒業生

旭川医科大学 学長補佐

旭川医科大学 医学科 同窓会会長

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授

はらぶち やすあき

旭川市 原 洸 保明



沼田中学校、創立70周年、統合50周年おめでとうございます。

私は1956年、沼田町の生まれで、沼田小学校を卒業後、1969年、統合し、完成したばかりの新校舎に、胸をときめきながら入学しました。当時は一学年約160名、4クラスあり、数多くの友人に出会い、共に学びました。下記の写真は、3年生の修学旅行で弘前に行った時に、クラスメート（私は右から2番目）と一緒に撮ったものです。その後、旭川東

高等学校に進学し、1982年に旭川医科大学に4期生として卒業し現在に至っています。

旭川医科大学病院は、高度かつ先端的な医療機能を持つ基幹病院として重要な使命を果たしています。毎日、全道から数多くの患者さまを受け入れています。時々沼田町でお世話になった方にお目にかかれることもあり、とても懐かしい思いになります。今後も、旭川医科大学病院は、沼田町から最も近

く最高の医療を提供する特定機能病院として、町民の皆さまの期待に十分応えていく所存です。私も故郷の沼田町に恩返しをするために、微力ながら貢献していきたいと思っています。

経歴

- 1956年12月23日 沼田町で生まれる
- 1975年3月 北海道立旭川東高等学校 卒業
- 1982年3月 旭川医科大学 卒業 4期生
- 1983年4月 札幌医科大学 大学院 入学
- 1991～3年 ニューヨーク州立大学 留学
- 1993年5月 札幌医科大学 耳鼻咽喉科 講師
- 1998年11月 旭川医科大学 教授



地域医療のアドバイスを

沼田中学校 1971年度 第4回 卒業生

シダックス大新東ヒューマンサービス 株式会社

(ほろしん温泉ほたる館) 勤務

沼田町 生沼 篤司

原洸さんとは、沼中の卓球部で一緒でした。高校からは別れ、私は大学卒業後に沼田町役場に就職し、昨年の秋に退職。現在にいたっています。還暦を過ぎ、地域医療の重要性をより身近に感じるようになりました。原洸さんには、ふるさと沼田町の発展はもとより、道内医療の明るい未来のためご活躍を期待しています。

▲沼中の修学旅行、弘前城での原洸教授（右から2番目）。